

(12) 特許協力条約に基づいて公開された国際出願

(19) 世界知的所有権機関
国際事務局

(43) 国際公開日
2014年3月27日(27.03.2014)



(10) 国際公開番号
WO 2014/045994 A1

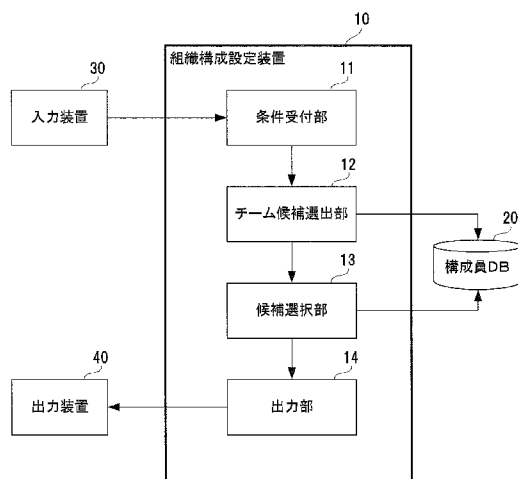
- (51) 国際特許分類:
G06Q 10/06 (2012.01)
- (21) 国際出願番号: PCT/JP2013/074647
- (22) 国際出願日: 2013年9月12日(12.09.2013)
- (25) 国際出願の言語: 日本語
- (26) 国際公開の言語: 日本語
- (30) 優先権データ:
特願 2012-205416 2012年9月19日(19.09.2012) JP
- (71) 出願人: 日本電気株式会社(NEC CORPORATION)
[JP/JP]; 〒1088001 東京都港区芝五丁目7番1号
Tokyo (JP).
- (72) 発明者: 大賀暁(OOGA, Satoru); 〒1088001 東京都
港区芝五丁目7番1号日本電気株式会社内
Tokyo (JP). 加藤大志(KATO, Daishi); 〒1088001 東京
都港区芝五丁目7番1号日本電気株式会社内
Tokyo (JP). 注連隆夫(SHIME, Takao); 〒1088001 東京
都港区芝五丁目7番1号日本電気株式会社内
Tokyo (JP).

- (74) 代理人: 特許業務法人ワンディー I P パート
ナーズ(ONEDIEE IP PARTNERS); 〒5320003 大阪
府大阪市淀川区宮原四丁目1番4号新大阪セン
タービル Osaka (JP).
- (81) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の国内保
護が可能): AE, AG, AL, AM, AO, AT, AU, AZ, BA,
BB, BG, BH, BN, BR, BW, BY, BZ, CA, CH, CL, CN,
CO, CR, CU, CZ, DE, DK, DM, DO, DZ, EC, EE, EG, ES,
FI, GB, GD, GE, GH, GM, GT, HN, HR, HU, ID, IL, IN,
IS, JP, KE, KG, KN, KP, KR, KZ, LA, LC, LK, LR, LS,
LT, LU, LY, MA, MD, ME, MG, MK, MN, MW, MX,
MY, MZ, NA, NG, NI, NO, NZ, OM, PA, PE, PG, PH,
PL, PT, QA, RO, RS, RU, RW, SA, SC, SD, SE, SG, SK,
SL, SM, ST, SV, SY, TH, TJ, TM, TN, TR, TT, TZ, UA,
UG, US, UZ, VC, VN, ZA, ZM, ZW.
- (84) 指定国 (表示のない限り、全ての種類の広域保
護が可能): ARIPO (BW, GH, GM, KE, LR, LS, MW,
MZ, NA, RW, SD, SL, SZ, TZ, UG, ZM, ZW), ユーラシ
ア (AM, AZ, BY, KG, KZ, RU, TJ, TM), ヨーロッパ
(AL, AT, BE, BG, CH, CY, CZ, DE, DK, EE, ES, FI, FR,
GB, GR, HR, HU, IE, IS, IT, LT, LU, LV, MC, MK, MT,
NL, NO, PL, PT, RO, RS, SE, SI, SK, SM, TR), OAPI

[続葉有]

(54) Title: ORGANIZATION CONSTITUTION SETTING DEVICE, ORGANIZATION CONSTITUTION SETTING METHOD, AND COMPUTER-READABLE RECORDING MEDIUM

(54) 発明の名称: 組織構成設定装置、組織構成設定方法、及びコンピュータ読み取り可能な記録媒体



(57) Abstract: An organization constitution setting device (10), provided with: a condition acceptance unit (11) for accepting, as constitution conditions, the number of classes in an organization, the rank of constituent members allowed in each class, the number of constituent members in each class, and the specifics of constitution of teams, which are the constituting elements of the organization; a team candidate election unit (12) for electing a combination of constituent members who will serve as candidates for affiliation members in each of the teams so that the constitution conditions are satisfied by using a database containing registered information representing characteristics, information representing abilities, and information representing rank for each of the constituent members; and a candidate selection unit (13) for determining the correlation of characteristics among the constituent members and the correlation of abilities among the constituent members for each of the candidates on the basis of the characteristics and abilities of each of the constituent members as the candidates in each of the teams, and selecting the candidates who will serve as affiliation members from among the elected candidates on the basis of the correlations thus determined.

(57) 要約:

[続葉有]

- 10 Organization constitution setting device
11 Condition acceptance unit
12 Team candidate election unit
13 Candidate selection unit
14 Output unit
20 Constituent database
30 Input device
40 Output device

WO 2014/045994 A1



(BF, BJ, CF, CG, CI, CM, GA, GN, GQ, GW, KM, ML, 添付公開書類:
MR, NE, SN, TD, TG).

— 国際調査報告 (条約第 21 条(3))

組織構成設定装置 10 は、組織の階層の数、各階層で許可される構成員の階級、各階層の構成員数、及び組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける条件受付部 11 と、構成員毎に、特性を示す情報、能力を示す情報、及び階級を示す情報が登録されたデータベースを用いて、構成条件が満たされるように、チーム毎に、所属メンバーの候補となる構成員の組合せを選出するチーム候補選出部 12 と、各チームについて、その候補の各構成員の特性及び能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と構成員間の能力の相関性とを求め、求めた各相関性に基づいて、選出されている候補の中から所属メンバーとなる候補を選択する候補選択部 13 と、を備えている。

明 細 書

発明の名称：

組織構成設定装置、組織構成設定方法、及びコンピュータ読み取り可能な記録媒体

技術分野

[0001] 本発明は、企業におけるチーム編成においてチーム構成の案を提示するための、組織構成設定装置、及び組織構成設定方法に関し、更には、これらを実現するためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体に関する。

背景技術

[0002] 近年、企業価値の判断にあたっては、財務指標であるタンジブルアセットに加え、非財務指標であるインタンジブルアセットも重視されるようになってきている。インタンジブルアセットは、企業の目に見えない資産、例えば、顧客資産、人的資産等を表わす指標であり、その企業が永続的に存続していけるかどうかを判断するための重要な指標となる。

[0003] また、インタンジブルアセットにおいて、とりわけ、人的資産は、企業の組織力に直結する。そして、組織力は、企業内部で編成される各種チームにおける、構成メンバーの組合せによって大きく変動すると考えられる。これは、人の特性はそれぞれ異なっており、チームの他のメンバーとの相性によって、その能力、寛容度、コミュニケーションの傾向が変動するからである。

[0004] 但し、このように、チーム編成において、構成メンバーの選定は重要であるが、選定が間違っていないかどうかは、実際にチームを構成して、一定期間が経過しないと分からないのが現実である。このため、特許文献1は、社員間の相性に基づいて人材配置を支援する装置を提案している。

[0005] 具体的には、特許文献1に開示された装置は、まず、予め各社員が回答した他の社員についての相性に関する評価を取得し、取得した評価に基づいて

相性リストを作成する。そして、当該装置は、あるチームについて人材の配置要求を受けると、社員情報及び組織情報に加えて、相性リストを用いて、当該チーム内の相性を求め、これを提示する。

先行技術文献

特許文献

[0006] 特許文献1：特開2009-271601号公報

発明の概要

発明が解決しようとする課題

[0007] ところで、特許文献1に開示された装置によれば、組織の管理者は、チーム内の相性を簡単に知ることができるので、相性の悪さによる組織力の低下を回避できると考えられる。しかしながら、特許文献1に開示された装置を用いた場合は、相性に重きをおいてチームが編成されるため、場合によっては、相性は良いが能力が低いメンバーのみが集まってしまうおそれがある。この場合、却って組織力が低下してしまう。

[0008] 本発明の目的の一例は、上記問題を解消し、組織を構成するメンバー間の相性を考慮しつつ、当該組織における組織力の向上を図り得る、組織構成設定装置、組織構成設定方法、及びコンピュータ読み取り可能な記録媒体を提供することにある。

課題を解決するための手段

[0009] 上記目的を達成するため、本発明の一側面における組織構成設定装置は、対象となる組織の構成を設定するための装置であって、

前記組織を構成する階層の数、各階層で許可される前記組織の構成員の階級、各階層の前記構成員の数、及び前記組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける、条件受付部と、

前記構成員毎に、特性を示す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが登録されたデータベースを用いて、前記構成条件が満たされるように、前記チーム毎に、当該チームの所属メンバーの候補となる、前記構成員の組

合せを選出する、チーム候補選出部と、

前記チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の前記特性及び前記能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求め、

求めた各相関性に基づいて、当該チームについて選出されている前記候補の中から、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、候補選択部と、を備えていることを特徴とする。

[0010] また、上記目的を達成するため、本発明の一側面における組織構成設定方法は、対象となる組織の構成を設定するための方法であって、

(a) 前記組織を構成する階層の数、各階層で許可される前記組織の構成員の階級、各階層の前記構成員の数、及び前記組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける、ステップと、

(b) 前記構成員毎に、特性を示す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが登録されたデータベースを用いて、前記構成条件が満たされるように、前記チーム毎に、当該チームの所属メンバーの候補となる、前記構成員の組合せを選出する、ステップと、

(c) 前記チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の前記特性及び前記能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求め、

求めた各相関性に基づいて、当該チームについて選出されている前記候補の中から、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、ステップと、を有することを特徴とする。

[0011] 更に、上記目的を達成するため、本発明の一側面におけるコンピュータ読み取り可能な記録媒体は、コンピュータによって、対象となる組織の構成を設定するためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

前記コンピュータに、

(a) 前記組織を構成する階層の数、各階層で許可される前記組織の構成員

の階級、各階層の前記構成員の数、及び前記組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける、ステップと、

(b) 前記構成員毎に、特性を示す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが登録されたデータベースを用いて、前記構成条件が満たされるように、前記チーム毎に、当該チームの所属メンバーの候補となる、前記構成員の組合せを選出する、ステップと、

(c) 前記チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の前記特性及び前記能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求め、

求めた各相関性に基づいて、当該チームについて選出されている前記候補の中から、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、ステップと、
を実行させる命令を含む、プログラムを記録していることを特徴とする。

発明の効果

[0012] 以上のように、本発明によれば、組織を構成する構成員間の相性を考慮しつつ、当該組織における組織力の向上を図ることができる。

図面の簡単な説明

[0013] [図1]図1は、本発明の実施の形態における組織構成設定装置の構成を示す構成図である。

[図2]図2は、本発明の実施の形態で用いられる構成員データベースに登録されている情報の一例を示す図である。

[図3]図3は、本発明の実施の形態において対象となる組織の一例を示す図である。

[図4]図4は、本発明の実施の形態で用いられる相関条件の一例を示す図である。

[図5]図5は、本発明の実施の形態における組織構成設定装置の動作を示すフロー図である。

[図6]図6は、本発明の実施の形態において選出された候補の一例を示す図である。

[図7]図7は、本発明の実施の形態における選択結果の一例を示す図である。
[図8]図8は、本発明の実施の形態における組織構成設定装置を実現するコンピュータの一例を示すブロック図である。

発明を実施するための形態

[0014] (実施の形態)

以下、本発明の実施の形態における、組織構成設定装置、組織構成設定方法、及びプログラムについて、図1～図8を参照しながら説明する。

[0015] [装置構成]

最初に、図1を用いて、本実施の形態における組織構成設定装置の構成について説明する。図1は、本発明の実施の形態における組織構成設定装置の構成を示す構成図である。

[0016] 図1に示す、本実施の形態における組織構成設定装置10は、対象となる組織の構成を設定するための装置である。図1に示すように、組織構成設定装置10は、条件受付部11と、チーム候補選出部12と、候補選択部13とを備えている。また、組織構成設定装置10は、構成員データベース20に接続されている。なお、構成員データベースは、図1においては、「構成員DB」と表記する。

[0017] 条件受付部11は、対象となる組織を構成する階層の数、各階層で許可される組織の構成員の階級、各階層の構成員の数、及び組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける。

[0018] チーム候補選出部12は、構成員データベース20を用いて、構成条件が満たされるように、チーム毎に、各チームの所属メンバーの候補となる、構成員の組合せを選出する。構成員データベース20には、後述するように、対象となる組織の構成員毎に、特性を示す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが登録されている（図2参照）。

[0019] 候補選択部13は、チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の特性及び能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求める。そして、候補選択部13は、求めた各相関性

に基づいて、チーム毎に、各チームについて選出されている候補の中から、そのチームの所属メンバーとなる候補を選択する。

[0020] このように、本実施の形態における組織構成設定装置 10 では、各チームの所属メンバーは、構成員間における特性の相関性と能力の相関性とに基づいて選択されており、構成員間の相性と各構成員の能力とが考慮されている。このため、チームの所属メンバー間の相性の悪さによる組織力の低下、相性は良いが能力が低い者のみが集まることによる組織力の低下が抑制される。つまり、本実施の形態によれば、組織を構成するメンバー間の相性を考慮しつつ、当該組織における組織力の向上を図ることができる。

[0021] ここで、図 1 に加えて、更に図 2～図 4 を用いて、組織構成設定装置 10 の構成について更に具体的に説明する。図 2 は、本発明の実施の形態で用いられる構成員データベースに登録されている情報の一例を示す図である。図 3 は、本発明の実施の形態において対象となる組織の一例を示す図である。

[0022] まず、図 1 に示すように、組織構成設定装置 10 には、入力装置 30 及び出力装置 40 が接続されている。入力装置 30 は、構成条件を入力するための装置であり、例えば、キーボード等の入力機器である。出力装置 40 は、設定された組織構成を提示するための装置であり、例えば、ディスプレイ、プリンタなどである。また、組織構成設定装置 10 には、入力装置 30 及び出力装置 40 の代わりに、パーソナルコンピュータ等の端末装置が接続されていても良い。この場合、端末装置は、入力装置 30 及び出力装置 40 として機能することとなる。

[0023] 更に、図 1 に示すように、本実施の形態では、組織構成設定装置 10 は、条件受付部 11、チーム候補選出部 12、及び候補選択部 13 に加えて、出力部 14 も備えている。出力部 14 は、候補選択部 13 によって選択された各チームの候補を合せて、組織構成を設定し、設定した組織構成を特定する情報（以下「組織構成情報」と表記する。）を出力装置 40 に出力する。これにより、出力装置 40 は、設定された組織構成を提示することができる。

[0024] 図 2 に示すように、構成員データベース 20 には、構成員毎に、特性を示

す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが、登録されている。図2の例では、構成員として、A～Kが例示されているが、本実施の形態はこれに限定されるものではない。

[0025] また、図2の例では、各構成員の特性を示す情報として、「外向度合」、「時間厳守度合」、及び「快活度合」、といった各構成員の性格を表わす項目、それぞれの相対値が登録されている。更に、各構成員の能力を示す情報として、「並列プログラミング能力」、「GUIプログラミング能力」、及び「会計・経理プログラミング能力」、といった各構成員の業務能力を表わす項目、それぞれの相対値が登録されている。また、階級を示す情報として、各構成員の階級の値が登録されている。なお、階級は、値が大きいほど上級となる。

[0026] 図3に示すように、本実施の形態において構成設定の対象となる組織は、企業、官公庁等の組織であり、複数の階層によって構成されている。図3の例では、組織を構成する階層は、最上層、中間層、最下層の3つである。また、図3において、右側に示した「階級」は、各階層で許可される構成員の階級を示している。更に、図3の例では、図中の楕円形は構成員を示しており、最上層に所属できる構成員の数は1人、中間層に所属できる構成員の数は2人、最下層に所属できる構成員の数は6人である。各楕円形に付与された番号は、位置を示す識別番号である。なお、組織が企業の組織である場合は、組織を構成している構成員には、正規社員はもとより、非正規社員、パートタイマー等の企業で働く全ての人が含まれる。また、組織が官公庁である場合は、組織を構成している構成員には、公務員はもとより、嘱託職員、パートタイマー等の官公庁で働く全ての人が含まれる。

[0027] また、図3の例では、組織の構成要素となるチームは、チームT1～チームT3の三つであり、各チームは図3において実線の枠で示されている。そして、各チームは、所属メンバーの一部が上下2つの階層のうちの上の階層に属し、残りが下の階層に属するように設定されている。更に、各チームは、チーム間で構成員が重複するようにも設定されている。

[0028] 具体的には、チームＴ１は、最上層に１人、中間層に２人が属するように設定されている。チームＴ２は、中間層に１人、最下層に３人が属するように設定されている。チームＴ３は、中間層に１人、最下層に２人が属するように設定されている。また、チームＴ１～チームＴ３は、上層のチームと下層のチームとの間において、構成員が重複するように、設定されている。

[0029] また、本実施の形態では、条件受付部１１は、上述した構成条件に加えて、チーム毎に、所属メンバー間の特性の相関性及び所属メンバー間の能力の相関性について設定された相関条件を更に受け付ける。そして、この場合、候補選択部１３は、チームそれぞれについて、候補毎に、求めた各相関性と、受け付けた相関条件とを対比して、各チームの所属メンバーとなる候補を選択する。

[0030] 具体的には、候補選択部１３は、例えば、各構成員の性格を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度（以下「特性類似度」と表記する。）を算出する。更に、候補選択部１３は、構成員間の能力の相関性として、例えば、各構成員の業務能力を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度（以下「能力類似度」と表記する。）を算出する。このとき、本実施の形態では、各チームにおいて、所属メンバーの階層が上下に分かれるため、候補選択部１３は、上層の構成員と下層の構成員との間を対象として、特性類似度及び能力類似度を算出する。また、本実施の形態において、このような類似度の算出は、例えば、ピアソンの積率相関係数等を用いて相関値を求めることによって実行できる。

[0031] また、図３に示したように、各チームでは、１人の上層の構成員に対して複数の下層の構成員が存在することから、各候補において、特性類似度及び能力類似度はそれぞれ複数個算出される。よって、候補選択部１３は、候補毎に、特性類似度の分散値を求め、求めた分散値を、各候補における構成員間の特性の相関性とする。更に、候補選択部１３は、候補毎に、能力類似度の分散値を求め、求めた分散値を、各候補における構成員間の能力の相関性とする。

[0032] また、この場合の相関条件の具体例としては、チーム毎に設定された、特性類似度の分散値についての適正範囲と、能力類似度の分散値についての適正範囲とが挙げられる。図4は、本発明の実施の形態で用いられる相関条件の一例を示す図である。

[0033] [装置動作]

次に、本発明の実施の形態における組織構成設定装置10の動作について図5～図7を用いて説明する。図5は、本発明の実施の形態における組織構成設定装置の動作を示すフロー図である。以下の説明においては、適宜図1～図4を参酌する。また、本実施の形態では、組織構成設定装置10を動作させることによって、組織構成設定方法が実施される。よって、本実施の形態における組織構成設定方法の説明は、以下の組織構成設定装置10の動作説明に代える。

[0034] 図5に示すように、最初に、条件受付部11は、入力装置30から、設定対象となる組織の構成条件と相関条件（図4参照）との入力を受け付ける（ステップA1）。また、条件受付部11は、受け付けた構成条件と相関条件とをチーム候補選出部12に入力する。

[0035] なお、ステップA1で入力される構成条件及び相関条件は、組織の管理者、当該組織が設定される企業の経営者等によって予め作成されている。また、このうち、相関条件は、組織構成設定装置10の製造元によって作成されていても良い。

[0036] 設定対象となる組織が図3に示した例である場合は、構成条件は下記の通りとなる。

- (a) 組織の階層数 : 3
- (b) 最上層で許可される構成員の階級 : 4、3
- (c) 中間層で許可される構成員の階級 : 3、2
- (d) 最下層で許可される構成員の階級 : 1
- (e) 最上層の構成員の数 : 1
- (c) 中間層の構成員の数 : 2

- (d) 最下層の構成員の数 : 5
- (e) チームの数 : 3
- (f) チーム T 1 : 上層 1 人、下層 2 人
- (g) チーム T 2 : 上層 1 人、下層 3 人
- (h) チーム T 3 : 上層 1 人、下層 2 人
- (i) チーム間での構成員の重複 : 上層と下層との間で有

[0037] 次に、チーム候補選出部 1 2 は、構成員データベース 2 0 から各構成員の情報を抽出し、抽出した情報を用いて、ステップ A 1 で入力された構成条件が満たされるように、チーム毎に候補を選出する（ステップ A 2）。例えば、チーム候補選出部 1 2 は、図 2 に示した構成員データベース 2 0 を用いて、チーム T 1 については、図 6 に示す候補を選出する。図 6 は、本発明の実施の形態において選出された候補の一例を示す図である。図 6 において、候補は括弧で区切られている。また、図 6 中の A ~ F は、図 2 に示した構成員 A ~ F に対応する。

[0038] また、ステップ A 2 における候補の選出は、図 2 に示す構成員データベースに登録されている適切階級に基づいて行なわれるので、構成員が不適切な階層に振分けられてしまう事態が回避される。また、同時に、候補選出の母集団を狭めることができるので、後述するステップ A 3 における計算の範囲を狭めることもできる。なお、ステップ A 2 では、各構成員の適切階級にプラスマイナス 1 の範囲で幅を設定しても良い。

[0039] 次に、候補選択部 1 3 は、チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の特性及び能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求める（ステップ A 3）。

[0040] ステップ A 3 では、候補選択部 1 3 は、まず、候補毎に、各構成員の性格を表わす項目（図 2 参照）の相対値を用いて、上層の構成員と下層の構成員との間を対象として、特性類似度を算出する。

[0041] 具体的には、例えば、チーム T 1 を例にとると、候補選択部 1 3 は、最上層の構成員と中間層の 2 人の構成員それぞれとの間について、「外向度合」

、「時間厳守度合」、及び「快活度合」の値を用いて、特性類似度として相関値を算出する。そして、この場合は、メンバー3-1と2-1との間、メンバー3-1と2-2との間、それぞれについて特性類似度が算出されているので、候補選択部13は、この2つの類似度の分散値を算出し、これを構成員間の特性の相関性とする。

[0042] 更に、ステップA3では、候補選択部13は、候補毎に、各構成員の業務能力を表わす項目（図2参照）の相対値を用いて、上層の構成員と下層の構成員との間を対象として、能力類似度も算出する。具体的には、例えば、チームT1を例にとると、候補選択部13は、最上層の構成員と中間層の2人の構成員それぞれとの間について、「並列プログラミング能力」、「GUIプログラミング能力」、及び「会計・経理プログラミング能力」の値を用いて、能力類似度として相関値を算出する。この場合も、2つの類似度が算出されているので、候補選択部13は、更に、この2つの類似度（相関値）の分散値を算出し、これを構成員間の能力の相関性とする。

[0043] また、本実施の形態では、能力類似度の算出において用いる能力は、算出対象となるチームが必要とする能力のみであっても良く、図3の例において、チームT2とチームT3とでは、算出に用いる能力の種類が異なっているが良い。例えば、チームT2の能力類似度の算出では「GUIプログラミング能力」のみが採用され、チームT3の能力類似度の算出では「並列プログラミング能力」と「会計・経理プログラミング能力」とが採用されていても良い。

[0044] 次に、候補選択部13は、ステップA3で算出した各相関性と、ステップA1で入力を受け付けた相関条件（図4参照）とを比較し、チーム毎に、各チームについて選出されている候補の中から、そのチームの所属メンバーとなる候補を選択する（ステップA4）。

[0045] 具体的には、候補選択部13は、候補毎に、ステップA3で算出した各分散値が、該当するチームの相関条件（各分散値についての適正範囲）を満たしているかどうかを判定する。そして、候補選択部13は、満たしていると

判定した候補を、チームの所属メンバーとなる候補として選択する。

[0046] 例えば、チーム T 1 は上層のチームであるため、チーム T 1 では、メンバーの特性は互いに近いことが求められるので、ステップ A 4 では、この要件が満たされるように所属メンバーの候補が選択される。ここで、図 3 に示すメンバー 3-1 と 2-1 との間の特性類似度（相関値）を P 1、メンバー 3-1 と 2-2 との間の特性類似度（相関値）を P 2 とする。そして、P 1 と P 2 とが共に高く類似している場合、具体的には、例えば、P 1 及び P 2 が共に 0.7 以上であり（ $P 1, P 2 \geq 0.7$ ）、且つ $|P 1 - P 2| < 0.2$ である場合は、両者は近接しており、両者の分散値は小さくなるので、上記要件は満たされる。よって、この場合の各メンバーの候補者を選択することで、チーム T 1 としての目標が達成される。

[0047] また、仮に、ステップ A 2 で選出されたチーム T 1 の候補が 4 人以上で構成されている場合があるとする。この場合、ステップ A 3 で算出した特性類似度及び能力類似度の分散値が、共に、図 4 に示された範囲内に収まるのであれば、ステップ A 4 において、この 4 人以上で構成された候補が選択される。

[0048] 本実施の形態では、図 7 に示すように、チーム T 1 として（A、E、C）が選択され、チーム T 2 として（E、H、J、K）が選択され、チーム T 3 として（C、G、I）が選択されている。なお、図 7 中の各識別番号の行において、選択された構成員の欄は「1」、選択されなかった構成員の欄は「0」とされている。図 7 は、本発明の実施の形態における選択結果の一例を示す図である。

[0049] その後、出力部 14 は、候補選択部 13 によって選択された各チームの候補を合せて、組織構成を設定し、組織構成情報を出力装置 40 に出力する（ステップ A 5）。これにより、出力装置 40 は、設定された組織構成を提示することができる。

[0050] 以上のように、本実施の形態では、構成員間の特性類似度及び能力類似度が算出され、更に、算出した各類似度のチーム内での分散の程度が求められ

る。そして、求めた分散の程度に基づいて、各チームの所属メンバーが決定されるので、チームの所属メンバー間の相性の悪さによる組織力の低下、及び相性は良いが能力が低い者のみが集まることによる組織力の低下が抑制される。

[0051] また、上述の例においては、ステップA 4での候補の選択は、いずれのチームにおいても、特性の相関性と能力の相関性との両方に基づいて行なわれているが、本実施の形態はこれに限定されない。例えば、最上層の所属メンバーは管理職であるため、最上層を含むチームについては、上述したように特性の分散値は低い方が良いと考えられる。よって、最上層を含むチームの候補選択は、特性の相関性のみに基づいて行なわれていても良い。更に、最下層の所属メンバーは現場担当者であるため、最下層を含むチームについては、能力の分散値は高い方が良いと考えられる。よって、最下層を含むチームの候補選択は、最下層の所属メンバー間での協力が重視されない組織においては、能力の相関性のみに基づいて行なわれていても良い。

[0052] 更に、本実施の形態では、条件受付部11は、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定を受け付けることもできる。この場合、チーム候補選出部12は、一部の所属メンバーが指定されたチームに対しては、指定された所属メンバーが含まれるように、候補を選出する。この態様は、ポジションを固定したい構成員が存在する場合に有効である。

[0053] [プログラム]

本発明の実施の形態におけるプログラムは、コンピュータに、図5に示すステップA 1～A 5を実行させるプログラムであれば良い。このプログラムをコンピュータにインストールし、実行することによって、本実施の形態における組織構成設定装置と組織構成設定方法とを実現することができる。この場合、コンピュータのCPU (Central Processing Unit) は、条件受付部11、チーム候補選出部12、候補選択部13、及び出力部14として機能し、処理を行なう。また、この場合、構成員データベース20は、当該プログラムがインストールされるコンピュータの記憶装置内に構築されていても

良いし、このコンピュータとは別の機器に構築されていても良い。

[0054] ここで、本実施の形態におけるプログラムを実行することによって、組織構成設定装置 10 を実現するコンピュータについて図 8 を用いて説明する。

図 8 は、本発明の実施の形態における組織構成設定装置を実現するコンピュータの一例を示すブロック図である。

[0055] 図 8 に示すように、コンピュータ 110 は、CPU 111 と、メインメモリ 112 と、記憶装置 113 と、入力インターフェイス 114 と、表示コントローラ 115 と、データリーダ／ライタ 116 と、通信インターフェイス 117 とを備える。これらの各部は、バス 121 を介して、互いにデータ通信可能に接続される。

[0056] CPU 111 は、記憶装置 113 に格納された、本実施の形態におけるプログラム（コード）をメインメモリ 112 に展開し、これらを所定順序で実行することにより、各種の演算を実施する。メインメモリ 112 は、典型的には、DRAM（Dynamic Random Access Memory）等の揮発性の記憶装置である。また、本実施の形態におけるプログラムは、コンピュータ読み取り可能な記録媒体 120 に格納された状態で提供される。なお、本実施の形態におけるプログラムは、通信インターフェイス 117 を介して接続されたインターネット上で流通するものであっても良い。

[0057] また、記憶装置 113 の具体例としては、ハードディスクドライブの他、フラッシュメモリ等の半導体記憶装置が挙げられる。入力インターフェイス 114 は、CPU 111 と、キーボード及びマウスといった入力機器 118 との間のデータ伝送を仲介する。表示コントローラ 115 は、ディスプレイ装置 119 と接続され、ディスプレイ装置 119 での表示を制御する。

[0058] データリーダ／ライタ 116 は、CPU 111 と記録媒体 120 との間のデータ伝送を仲介し、記録媒体 120 からのプログラムの読み出し、及びコンピュータ 110 における処理結果の記録媒体 120 への書き込みを実行する。通信インターフェイス 117 は、CPU 111 と、他のコンピュータとの間のデータ伝送を仲介する。

[0059] また、記録媒体 120 の具体例としては、CF (Compact Flash (登録商標)) 及びSD (Secure Digital) 等の汎用的な半導体記憶デバイス、フレキシブルディスク (Flexible Disk) 等の磁気記憶媒体、又はCD-ROM (Compact Disk Read Only Memory) などの光学記憶媒体が挙げられる。

[0060] 上述した実施の形態の一部又は全部は、以下に記載する(付記1)～(付記18)によって表現することができるが、以下の記載に限定されるものではない。

[0061] (付記1)

対象となる組織の構成を設定するための装置であって、

前記組織を構成する階層の数、各階層で許可される前記組織の構成員の階級、各階層の前記構成員の数、及び前記組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける、条件受付部と、

前記構成員毎に、特性を示す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが登録されたデータベースを用いて、前記構成条件が満たされるように、前記チーム毎に、当該チームの所属メンバーの候補となる、前記構成員の組合せを選出する、チーム候補選出部と、

前記チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の前記特性及び前記能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求め、

求めた各相関性に基づいて、当該チームについて選出されている前記候補の中から、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、候補選択部と、を備えていることを特徴とする、組織構成設定装置。

[0062] (付記2)

前記条件受付部が、前記チーム毎に、前記所属メンバー間の特性の相関性及び前記所属メンバー間の能力の相関性について設定された相関条件を更に受け付け、

前記候補選択部が、前記チームそれぞれについて、候補毎に、求めた各相関性と、受け付けられた前記相関条件とを対比して、当該チームの所属メンバ

一となる候補を選択する、
付記 1 に記載の組織構成設定装置。

[0063] (付記 3)

前記チームが、所属メンバーの一部が上下 2 つの階層のうちの上の階層に属し、残りが下の階層に属するように設定され、前記相関条件が、階層の異なる所属メンバー間を対象にして設定されている場合において、

前記候補選択部が、候補毎に、階層の異なる構成員間を対象として、前記特性の相関性と前記能力の相関性とを求める、
付記 2 に記載の組織構成設定装置。

[0064] (付記 4)

前記データベースが、前記特性を示す情報として、前記構成員の性格を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録し、更に、前記能力を示す情報として、前記構成員の業務能力を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録している、

付記 1 に記載の組織構成設定装置。

[0065] (付記 5)

前記候補選択部が、各構成員の性格を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の特性の相関性を求め、更に、各構成員の業務能力を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の能力の相関性を求める、

付記 4 に記載の組織構成設定装置。

[0066] (付記 6)

前記条件受付部が、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定を受け付けることができ、

前記チーム候補選出部が、前記条件受付部によって、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定が受け付けられた場合に、当該チームに対しては、指定された所属メンバーが含まれるように、前記候補を選出する、

付記 1 に記載の組織構成設定装置。

[0067] (付記 7)

対象となる組織の構成を設定するための方法であって、

(a) 前記組織を構成する階層の数、各階層で許可される前記組織の構成員の階級、各階層の前記構成員の数、及び前記組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける、ステップと、

(b) 前記構成員毎に、特性を示す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが登録されたデータベースを用いて、前記構成条件が満たされるように、前記チーム毎に、当該チームの所属メンバーの候補となる、前記構成員の組合せを選出する、ステップと、

(c) 前記チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の前記特性及び前記能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求め、

求めた各相関性に基づいて、当該チームについて選出されている前記候補の中から、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、ステップと、
を有することを特徴とする、組織構成設定方法。

[0068] (付記 8)

前記 (a) のステップにおいて、前記チーム毎に、前記所属メンバー間の特性の相関性及び前記所属メンバー間の能力の相関性について設定された相関条件を更に受け付け、

前記 (c) のステップにおいて、前記チームそれぞれについて、候補毎に、求めた各相関性と、受け付けられた前記相関条件とを対比して、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、

付記 7 に記載の組織構成設定方法。

[0069] (付記 9)

前記チームが、所属メンバーの一部が上下 2 つの階層のうちの上の階層に属し、残りが下の階層に属するように設定され、前記相関条件が、階層の異なる所属メンバー間を対象にして設定されている場合において、

前記（c）のステップにおいて、候補毎に、階層の異なる構成員間を対象として、前記特性の相関性と前記能力の相関性とを求める、
付記 8 に記載の組織構成設定方法。

[0070] （付記 1 0）

前記データベースが、前記特性を示す情報として、前記構成員の性格を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録し、更に、前記能力を示す情報として、前記構成員の業務能力を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録している、
付記 7 に記載の組織構成設定方法。

[0071] （付記 1 1）

前記（c）のステップにおいて、各構成員の性格を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の特性の相関性を求め、更に、各構成員の業務能力を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の能力の相関性を求める、
付記 1 0 に記載の組織構成設定方法。

[0072] （付記 1 2）

前記（a）のステップにおいて、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定を受け付けることができ、

前記（a）のステップによって、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定が受け付けられた場合に、前記（b）のステップにおいて、当該チームに対しては、指定された所属メンバーが含まれるように、前記候補を選出する、
付記 7 に記載の組織構成設定方法。

[0073] （付記 1 3）

コンピュータによって、対象となる組織の構成を設定するためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、
前記コンピュータに、

（a）前記組織を構成する階層の数、各階層で許可される前記組織の構成員

の階級、各階層の前記構成員の数、及び前記組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける、ステップと、

(b) 前記構成員毎に、特性を示す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが登録されたデータベースを用いて、前記構成条件が満たされるように、前記チーム毎に、当該チームの所属メンバーの候補となる、前記構成員の組合せを選出する、ステップと、

(c) 前記チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の前記特性及び前記能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求め、

求めた各相関性に基づいて、当該チームについて選出されている前記候補の中から、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、ステップと、
を実行させる命令を含む、プログラムを記録しているコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[0074] (付記 14)

前記 (a) のステップにおいて、前記チーム毎に、前記所属メンバー間の特性の相関性及び前記所属メンバー間の能力の相関性について設定された相関条件を更に受け付け、

前記 (c) のステップにおいて、前記チームそれぞれについて、候補毎に、求めた各相関性と、受け付けられた前記相関条件とを対比して、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、

付記 13 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[0075] (付記 15)

前記チームが、所属メンバーの一部が上下 2 つの階層のうちの上の階層に属し、残りが下の階層に属するように設定され、前記相関条件が、階層の異なる所属メンバー間を対象にして設定されている場合において、

前記 (c) のステップにおいて、候補毎に、階層の異なる構成員間を対象として、前記特性の相関性と前記能力の相関性とを求める、

付記 14 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[0076] (付記 1 6)

前記データベースが、前記特性を示す情報として、前記構成員の性格を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録し、更に、前記能力を示す情報として、前記構成員の業務能力を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録している、

付記 1 3 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[0077] (付記 1 7)

前記 (c) のステップにおいて、各構成員の性格を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の特性の相関性を求め、更に、各構成員の業務能力を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の能力の相関性を求める、

付記 1 6 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[0078] (付記 1 8)

前記 (a) のステップにおいて、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定を受け付けることができ、

前記 (a) のステップによって、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定が受け付けられた場合に、前記 (b) のステップにおいて、当該チームに対しては、指定された所属メンバーが含まれるように、前記候補を選出する、

付記 1 3 に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[0079] 以上、実施の形態を参照して本願発明を説明したが、本願発明は上記実施の形態に限定されるものではない。本願発明の構成や詳細には、本願発明の Scope 内で当業者が理解し得る様々な変更をすることができる。

[0080] この出願は、2012年9月19日に提出された日本出願特願2012-205416を基礎とする優先権を主張し、その開示の全てをここに取り込む。

産業上の利用可能性

[0081] 以上のように、本発明によれば、組織を構成する構成員間の相性を考慮し

つつ、当該組織における組織力の向上を図ることができる。本発明は、企業、官公庁等、組織の構築が必要となる場合に有用である。

符号の説明

- [0082] 1 0 組織構成設定装置
- 1 1 条件受付部
- 1 2 チーム候補選出部
- 1 3 候補選択部
- 1 4 出力部
- 2 0 構成員データベース
- 3 0 入力装置
- 4 0 出力装置
- 1 1 0 コンピュータ
- 1 1 1 CPU
- 1 1 2 メインメモリ
- 1 1 3 記憶装置
- 1 1 4 入力インターフェイス
- 1 1 5 表示コントローラ
- 1 1 6 データリーダ／ライタ
- 1 1 7 通信インターフェイス
- 1 1 8 入力機器
- 1 1 9 ディスプレイ装置
- 1 2 0 記録媒体
- 1 2 1 バス

請求の範囲

[請求項1]

対象となる組織の構成を設定するための装置であって、

前記組織を構成する階層の数、各階層で許可される前記組織の構成員の階級、各階層の前記構成員の数、及び前記組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける、条件受付部と、

前記構成員毎に、特性を示す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが登録されたデータベースを用いて、前記構成条件が満たされるように、前記チーム毎に、当該チームの所属メンバーの候補となる、前記構成員の組合せを選出する、チーム候補選出部と、

前記チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の前記特性及び前記能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求め、

求めた各相関性に基づいて、当該チームについて選出されている前記候補の中から、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、候補選択部と、

を備えていることを特徴とする、組織構成設定装置。

[請求項2]

前記条件受付部が、前記チーム毎に、前記所属メンバー間の特性の相関性及び前記所属メンバー間の能力の相関性について設定された相関条件を更に受け付け、

前記候補選択部が、前記チームそれぞれについて、候補毎に、求めた各相関性と、受け付けられた前記相関条件とを対比して、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、

請求項1に記載の組織構成設定装置。

[請求項3]

前記チームが、所属メンバーの一部が上下2つの階層のうちの上の階層に属し、残りが下の階層に属するように設定され、前記相関条件が、階層の異なる所属メンバー間を対象にして設定されている場合において、

前記候補選択部が、候補毎に、階層の異なる構成員間を対象として

、前記特性の相関性と前記能力の相関性とを求める、
請求項 2 に記載の組織構成設定装置。

[請求項4] 前記データベースが、前記特性を示す情報として、前記構成員の性格を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録し、更に、前記能力を示す情報として、前記構成員の業務能力を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録している、
請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の組織構成設定装置。

[請求項5] 前記候補選択部が、各構成員の性格を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の特性の相関性を求め、更に、各構成員の業務能力を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の能力の相関性を求める、
請求項 4 に記載の組織構成設定装置。

[請求項6] 前記条件受付部が、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定を受け付けることができ、
前記チーム候補選出部が、前記条件受付部によって、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定が受け付けられた場合に、当該チームに対しては、指定された所属メンバーが含まれるように、前記候補を選出する、
請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の組織構成設定装置。

[請求項7] 対象となる組織の構成を設定するための方法であって、
(a) 前記組織を構成する階層の数、各階層で許可される前記組織の構成員の階級、各階層の前記構成員の数、及び前記組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける、ステップと、
(b) 前記構成員毎に、特性を示す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが登録されたデータベースを用いて、前記構成条件が満たされるように、前記チーム毎に、当該チームの所属メンバーの候補となる、前記構成員の組合せを選出する、ステップと、

(c) 前記チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の前記特性及び前記能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求め、
求めた各相関性に基づいて、当該チームについて選出されている前記候補の中から、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、ステップと、
を有することを特徴とする、組織構成設定方法。

[請求項8] 前記(a)のステップにおいて、前記チーム毎に、前記所属メンバー間の特性の相関性及び前記所属メンバー間の能力の相関性について設定された相関条件を更に受け付け、

前記(c)のステップにおいて、前記チームそれぞれについて、候補毎に、求めた各相関性と、受け付けられた前記相関条件とを対比して、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、
請求項7に記載の組織構成設定方法。

[請求項9] 前記チームが、所属メンバーの一部が上下2つの階層のうちの上の階層に属し、残りが下の階層に属するように設定され、前記相関条件が、階層の異なる所属メンバー間を対象にして設定されている場合において、

前記(c)のステップにおいて、候補毎に、階層の異なる構成員間を対象として、前記特性の相関性と前記能力の相関性とを求める、
請求項8に記載の組織構成設定方法。

[請求項10] 前記データベースが、前記特性を示す情報として、前記構成員の性格を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録し、更に、前記能力を示す情報として、前記構成員の業務能力を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録している、
請求項7～9のいずれかに記載の組織構成設定方法。

[請求項11] 前記(c)のステップにおいて、各構成員の性格を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の

特性の相関性を求め、更に、各構成員の業務能力を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の能力の相関性を求める、

請求項 10 に記載の組織構成設定方法。

[請求項12] 前記（a）のステップにおいて、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定を受け付けることができ、

前記（a）のステップによって、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定が受け付けられた場合に、前記（b）のステップにおいて、当該チームに対しては、指定された所属メンバーが含まれるように、前記候補を選出する、

請求項 7 ～ 11 のいずれかに記載の組織構成設定方法。

[請求項13] コンピュータによって、対象となる組織の構成を設定するためのプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、前記コンピュータに、

（a）前記組織を構成する階層の数、各階層で許可される前記組織の構成員の階級、各階層の前記構成員の数、及び前記組織の構成要素となるチームの構成内容を、構成条件として受け付ける、ステップと、

（b）前記構成員毎に、特性を示す情報と、能力を示す情報と、階級を示す情報とが登録されたデータベースを用いて、前記構成条件が満たされるように、前記チーム毎に、当該チームの所属メンバーの候補となる、前記構成員の組合せを選出する、ステップと、

（c）前記チームそれぞれについて、各候補を構成する各構成員の前記特性及び前記能力に基づいて、候補毎に、構成員間の特性の相関性と、構成員間の能力の相関性とを求め、

求めた各相関性に基づいて、当該チームについて選出されている前記候補の中から、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、ステップと、

を実行させる命令を含む、プログラムを記録しているコンピュータ読

み取り可能な記録媒体。

[請求項14] 前記（a）のステップにおいて、前記チーム毎に、前記所属メンバー間の特性の相関性及び前記所属メンバー間の能力の相関性について設定された相関条件を更に受け付け、

前記（c）のステップにおいて、前記チームそれぞれについて、候補毎に、求めた各相関性と、受け付けられた前記相関条件とを対比して、当該チームの所属メンバーとなる候補を選択する、

請求項13に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[請求項15] 前記チームが、所属メンバーの一部が上下2つの階層のうちの上の階層に属し、残りが下の階層に属するように設定され、前記相関条件が、階層の異なる所属メンバー間を対象にして設定されている場合において、

前記（c）のステップにおいて、候補毎に、階層の異なる構成員間を対象として、前記特性の相関性と前記能力の相関性とを求める、

請求項14に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[請求項16] 前記データベースが、前記特性を示す情報として、前記構成員の性格を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録し、更に、前記能力を示す情報として、前記構成員の業務能力を表わす複数の項目それぞれの相対値を登録している、

請求項13～15のいずれかに記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[請求項17] 前記（c）のステップにおいて、各構成員の性格を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の特性の相関性を求め、更に、各構成員の業務能力を表わす複数の項目の相対値を用いた類似度を算出することによって、前記構成員間の能力の相関性を求める、

請求項16に記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

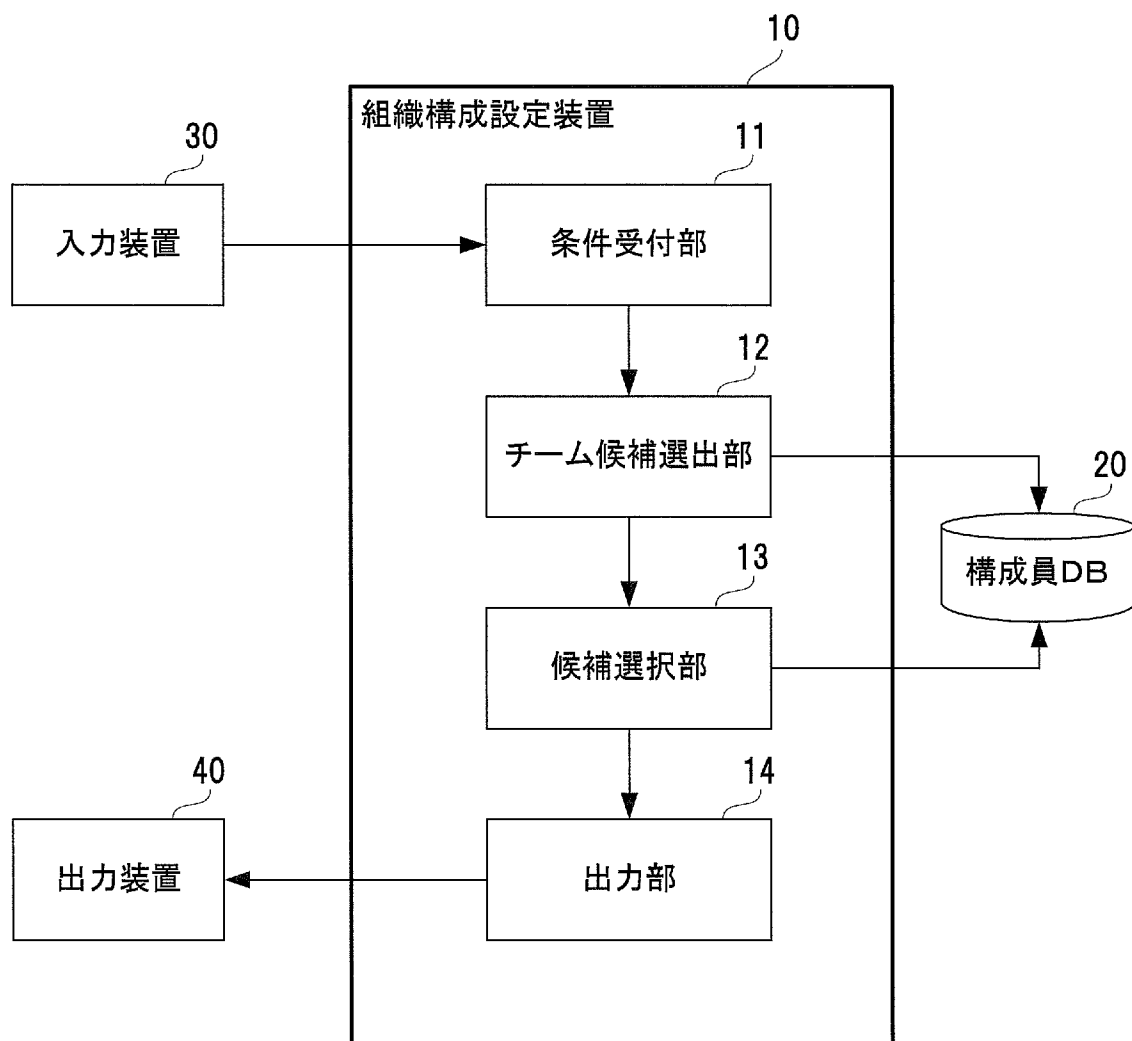
[請求項18] 前記（a）のステップにおいて、全部又は一部のチームについて、

一部の所属メンバーの指定を受け付けることができ、

前記（a）のステップによって、全部又は一部のチームについて、一部の所属メンバーの指定が受け付けられた場合に、前記（b）のステップにおいて、当該チームに対しては、指定された所属メンバーが含まれるように、前記候補を選出する、

請求項 13～17 のいずれかに記載のコンピュータ読み取り可能な記録媒体。

[図1]

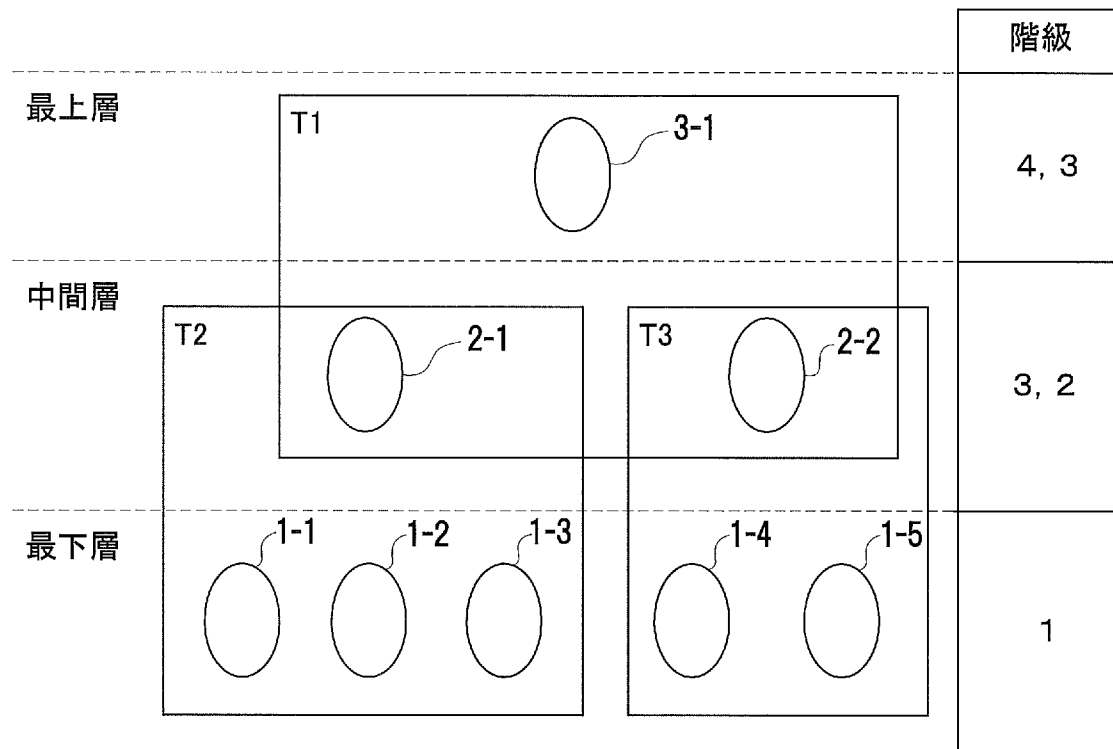


[図2]

構成員データベース

構成員 ID		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
特性	外交度合	1	1	2	1	2	0	1	2	1	0	1
	時間厳守度合	2	2	1	1	2	1	0	2	1	1	2
	快活度合	2	1	2	0	1	2	1	1	0	0	2
能力	並列プログラミング能力	0	1	0	2	0	0	2	1	0	1	2
	GUI プログラミング能力	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	会計・経理プログラミング能力	0	0	2	0	0	0	1	1	2	1	2
適切階級		4	3	3	2	2	2	1	1	1	1	1

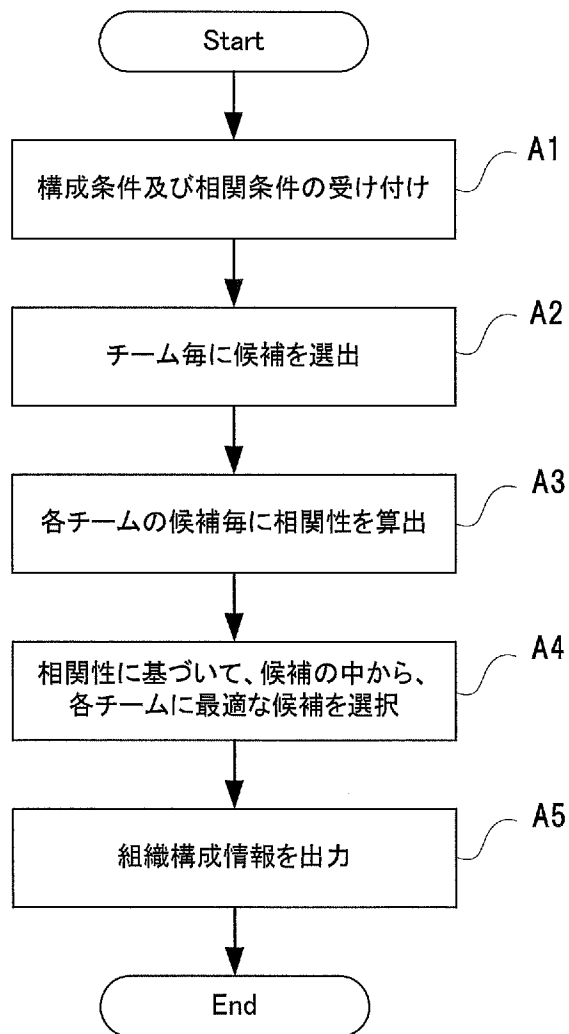
[図3]



[図4]

チーム名	特性類似度の分散値	能力類似度の分散値
T1	0.0～0.2	0.7～1.0
T2	0.2～0.4	0.5～0.8
T2	0.5～0.8	0.2～0.5

[図5]



[図6]

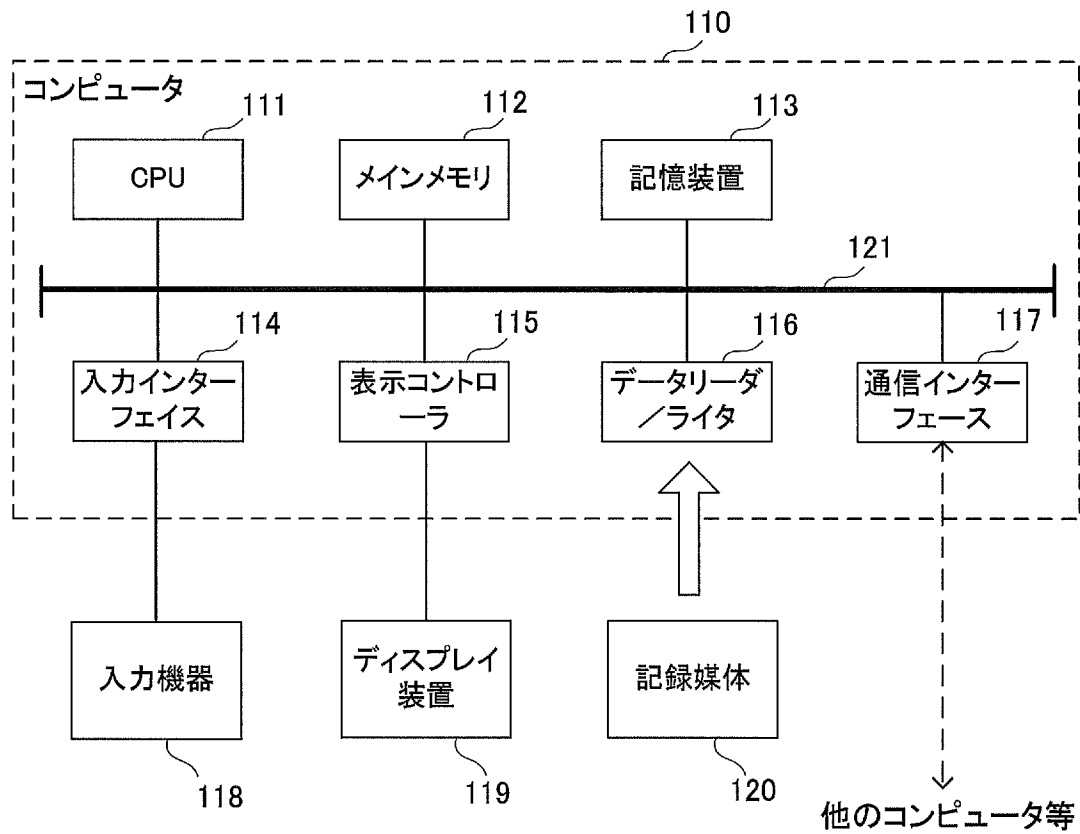
チーム T1 の候補

(A, B, C), (A, B, D), (A, B, E), (A, B, F),
(A, C, D), (A, C, E), (A, C, F)
(A, D, E), (A, D, F)
(A, E, F)
(B, C, D), (B, C, E), (B, C, F)
(B, D, E), (B, D, F)
(B, E, F),
(C, D, E), (C, D, F)
(C, E, F),

[図7]

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
3-1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2-1	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2-2	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1-1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0
1-2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0
1-3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0
1-4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
1-5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0

[図8]



INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2013/074647

A. CLASSIFICATION OF SUBJECT MATTER

G06Q10/06(2012.01) i

According to International Patent Classification (IPC) or to both national classification and IPC

B. FIELDS SEARCHED

Minimum documentation searched (classification system followed by classification symbols)

G06Q10/06

Documentation searched other than minimum documentation to the extent that such documents are included in the fields searched

Jitsuyo Shinan Koho	1922-1996	Jitsuyo Shinan Toroku Koho	1996-2013
Kokai Jitsuyo Shinan Koho	1971-2013	Toroku Jitsuyo Shinan Koho	1994-2013

Electronic data base consulted during the international search (name of data base and, where practicable, search terms used)

C. DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2011-8387 A (Hitachi Information Systems, Inc.), 13 January 2011 (13.01.2011), columns 37 to 251; fig. 1 to 5 (Family: none)	1-18
Y	JP 2009-271601 A (Toshiba Corp.), 19 November 2009 (19.11.2009), columns 55 to 67; fig. 1 to 16 (Family: none)	1-18
Y	JP 2007-122144 A (Toyota Motor Corp.), 17 May 2007 (17.05.2007), columns 17 to 52; fig. 1 to 6 (Family: none)	1-18

☒ Further documents are listed in the continuation of Box C.

☐ See patent family annex.

* Special categories of cited documents:

"A" document defining the general state of the art which is not considered to be of particular relevance

"E" earlier application or patent but published on or after the international filing date

"L" document which may throw doubts on priority claim(s) or which is cited to establish the publication date of another citation or other special reason (as specified)

"O" document referring to an oral disclosure, use, exhibition or other means

"P" document published prior to the international filing date but later than the priority date claimed

"T" later document published after the international filing date or priority date and not in conflict with the application but cited to understand the principle or theory underlying the invention

"X" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered novel or cannot be considered to involve an inventive step when the document is taken alone

"Y" document of particular relevance; the claimed invention cannot be considered to involve an inventive step when the document is combined with one or more other such documents, such combination being obvious to a person skilled in the art

"&" document member of the same patent family

Date of the actual completion of the international search
27 September, 2013 (27.09.13)

Date of mailing of the international search report
08 October, 2013 (08.10.13)

Name and mailing address of the ISA/
Japanese Patent Office

Authorized officer

Facsimile No.

Telephone No.

INTERNATIONAL SEARCH REPORT

International application No.

PCT/JP2013/074647

C (Continuation). DOCUMENTS CONSIDERED TO BE RELEVANT

Category*	Citation of document, with indication, where appropriate, of the relevant passages	Relevant to claim No.
Y	JP 2002-279132 A (Daiichi Tekko Kabushiki Kaisha), 27 September 2002 (27.09.2002), columns 57, 90; fig. 13 (Family: none)	6, 12, 18
A	JP 2003-16240 A (Toshiba Corp.), 17 January 2003 (17.01.2003), entire text; all drawings (Family: none)	1-18
A	JP 2007-26404 A (Junsei TSUKUDA), 01 February 2007 (01.02.2007), entire text; all drawings (Family: none)	1-18

A. 発明の属する分野の分類（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q10/06(2012.01)i

B. 調査を行った分野

調査を行った最小限資料（国際特許分類（I P C））

Int.Cl. G06Q10/06

最小限資料以外の資料で調査を行った分野に含まれるもの

日本国実用新案公報	1 9 2 2 - 1 9 9 6 年
日本国公開実用新案公報	1 9 7 1 - 2 0 1 3 年
日本国実用新案登録公報	1 9 9 6 - 2 0 1 3 年
日本国登録実用新案公報	1 9 9 4 - 2 0 1 3 年

国際調査で使用した電子データベース（データベースの名称、調査に使用した用語）

C. 関連すると認められる文献

引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2011-8387 A（株式会社日立情報システムズ）2011.01.13, 第37-251 欄, 第 1-5 図（ファミリーなし）	1-18
Y	JP 2009-271601 A（株式会社東芝）2009.11.19, 第 55-67 欄, 第 1-16 図（ファミリーなし）	1-18
Y	JP 2007-122144 A（トヨタ自動車株式会社）2007.05.17, 第 17-52 欄, 第 1-6 図（ファミリーなし）	1-18

☒ C 欄の続きにも文献が列挙されている。☐ パテントファミリーに関する別紙を参照。

* 引用文献のカテゴリー

「A」特に関連のある文献ではなく、一般的技術水準を示すもの
「E」国際出願日前の出願または特許であるが、国際出願日以後に公表されたもの
「L」優先権主張に疑義を提起する文献又は他の文献の発行日若しくは他の特別な理由を確立するために引用する文献（理由を付す）
「O」口頭による開示、使用、展示等に言及する文献
「P」国際出願日前で、かつ優先権の主張の基礎となる出願

の日の後に公表された文献

「T」国際出願日又は優先日後に公表された文献であって出願と矛盾するものではなく、発明の原理又は理論の理解のために引用するもの
「X」特に関連のある文献であって、当該文献のみで発明の新規性又は進歩性がないと考えられるもの
「Y」特に関連のある文献であって、当該文献と他の 1 以上の文献との、当業者にとって自明である組合せによって進歩性がないと考えられるもの
「&」同一パテントファミリー文献

国際調査を完了した日

2 7 . 0 9 . 2 0 1 3

国際調査報告の発送日

0 8 . 1 0 . 2 0 1 3

国際調査機関の名称及びあて先

日本国特許庁（I S A / J P）
郵便番号 1 0 0 - 8 9 1 5
東京都千代田区霞が関三丁目 4 番 3 号

特許庁審査官（権限のある職員）

田付 徳雄

5 L

3 2 4 3

電話番号 0 3 - 3 5 8 1 - 1 1 0 1 内線 3 5 6 2

C (続き) . 関連すると認められる文献		
引用文献の カテゴリー*	引用文献名 及び一部の箇所が関連するときは、その関連する箇所の表示	関連する 請求項の番号
Y	JP 2002-279132 A (第一鉄鋼株式会社) 2002.09.27, 第 57 欄, 第 90 欄, 第 13 図 (ファミリーなし)	6, 12, 18
A	JP 2003-16240 A (株式会社東芝) 2003.01.17, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-18
A	JP 2007-26404 A (佃 純誠) 2007.02.01, 全文, 全図 (ファミリーなし)	1-18